

発 言 通 告 書

発言者氏名	中川さおり
発言の会議	令和7年11月27日 本会議
発言の種類	質 疑、 <u>一般質問</u> 、緊急質問、討 論、その他
質疑等の方式	一 括、 <u>一問一答</u>
答弁を求める者	市 長

【件名及び発言の要旨】

1 よこすか開国花火大会 2025 中止の判断について

- (1) 10月5日開催予定であったよこすか開国花火大会 2025（横須賀市観光協会主催）は、安全上の理由で中止となった。7億円超の経済効果、市からの補助金 9,270 万円という、市最大イベントの中止判断について、検証の必要性や次回以降の開催計画の見直しの必要性を、市長はどのようにお考えか。
- (2) 米国の都合で中止になったと理解している人々がいると思われることについて、市長はどのようにお考えか。

2 市営有料自転車等駐車場の運用の見直しについて

- (1) 駅隣接の駐輪場は、通勤・通学に不可欠なインフラ施設である。しかるに、市内 28 か所の市営有料自転車等駐車場は、「自転車等の放置防止に関する条例」に基づき、あくまで自転車等の放置を防ぐために設置されており、インフラとして認識をされていないように思える。同条例第 13 条は「自転車等の放置の防止を図るとともに自転車等の利用者等の利便に供するため、本市に自転車等駐車場を設置する」ものであるが、自転車等の放置の防止を図ることに重きを置き、自転車等利用者の利便に

供することについては重視していないように思えるが、市長はどうお考えか。

- (2) 自転車に関する道路交通法の改正により自転車運転者自身の責任がより大きく問われることになるが、その分やはり利用者の利便のために必要な整備を行うことが重要であると考え。現在あるものも含め、屋根の設置などの再整備について、市長のお考えを伺う。

3 市の広報体制について

- (1) 市長は、市民に対し、事業や施策について説明する責任があり、市長記者会見は、報道機関に市の施策・事業等を発表し、取材を受ける場であると同時に、市民への説明責任を果たす場でもある。しかるに、市長発表部分は動画で公開するものの、質疑応答部分の動画は市民に公開しておらず、会見録が発表されるのは数か月後という現行の市長記者会見の運用では、市民の知る権利が奪われている状態である。市民の知る権利を、市長はどのようにお考えか。
- (2) 現行の市長記者会見は、記者クラブ主催で開催され、記者クラブの要望を取り入れた内容で(1)のように限定的に運営されている以上、庁舎内の会見会場や記者控室の使用料を記者クラブから徴収すべきと考えるが、市長はどのようにお考えか。
- (3) 市長選挙期間中の6月17日、当時候補者であった上地市長は、自身の交通違反についての記者会見を、市役所ではなく選挙事務所で行ったが、その際の記者会見の手続には市の職員は関与せず、市長御自身が行ったのか、改めて伺う。

4 内部統制の機能不全について

- (1) 9月12日、市長は、自身の道路運送車両法違反などの疑いによる書類送検が、不起訴になったと発表した。この事案は、市長給与3か月分減額をする条例案を通すに至った原因となるものと見られるが、市民への説明が不十分だと思われる。市長の違反は全国的に報道され、市民だけでなく国民は、警察や検察

がどう判断するのかということにも注目していた。起訴、不起訴関係なく、当該違反について市長が十分に説明しておらず、警察や検察に対する不信感を招く事態となっているが、改めて今回の交通違反に関する一連の事態及びその市民への説明の在り方について、市長はどうお考えか。

- (2) 私が9月定例議会で総合医療センターについて一般質問した際の、市長や職員の「精神科ではもの忘れ外来のほか、通常の精神疾患の外来診療も行っている」という旨の答弁が事実と異なっていたことについて、市長はどうお考えか。
- (3) 9月定例議会の一般質問において、一部議員が、質問中の私に対し不適切な発言や嘲笑をしたこと、そのために私が質問時間を損なったことがあった。元市議として、また今は市議会と建設的な議論を交わすお立場として、どうお受け止めになれるか。

5 米軍関係者の交通教育に関する米軍への申入れの進捗について

- (1) 市内では2024年9月18日、2025年2月11日、同年4月27日に米兵が加害者となる重大交通事故が3件発生したことから、市は4月28日に在日米軍に交通教育の徹底を要請した。その後の進捗はどうなっているか。また、被害者の御遺族から6月6日に提出された要請について、市はどのように対応したのか、また、その対応について市長はどうお考えか。